

令和2年度 第1回松本市四賀有機センター運営委員会 会議録

- 1 開催日時 令和2年9月25日（金） 午後2時～午後3時
- 2 会場 松本市四賀支所3階 303号室
- 3 出席委員 小宮山司委員、小宮山榮造委員、久保田恒登委員、久保田高弘委員、市川恵一委員、齋藤一徳委員、神通川洋一委員（代理：小川章）、川窪吉光委員、齋藤孝子委員（代理：齋藤修太）、倉科信孝委員、金子文彦委員、金井保志委員、武川正二委員、藤牧俊一郎委員、藤井忠之委員  
（以上15名）
- 4 事務局出席者 農林部長（林浩史）  
農政課課長（長谷川倫雅）  
生産振興担当係長（山田秀明）  
四賀農林担当（内藤喜章）  
四賀農林担当（清澤正）
- 5 次第
  - (1) 開会
  - (2) 農政課長あいさつ
  - (3) 議事
    - ア 委員長及び副委員長の選出について
    - イ 令和元年度環境対策に関する取り組みについて
    - ウ 令和元年度の運営状況について
    - エ 有機センター運営に関する協議経過について
- 6 会議録（要約）
  - (1) 開会（課長）
  - (2) 議事
    - ア 議事アについて  
互選により、委員長—金子文彦委員 副委員長—神通川洋一委員を選出。
    - イ 議事イについて  
○委員  
破損部の波板の張替えのガルダン波板というのは、大屋根の鉄板のことか。またビスで止めていると思うがすべてに効いているのか。側壁の老朽化についてはどの程度のものか。

○委員

大屋根の鉄板のことです。突風があつたりすると老朽化している場所はビスが浮き上がり効きが悪い場所もあります。3年以内位に張替えた波板については、ビスによる固定が効いています。側壁の劣化は、南側については平成29年度に修繕をしています。北側側壁については劣化が進んでいますので、応急処置が必要な時は重ね張り等により対応しているところ  
です。

○委員

有機センター周辺から発生した外来植物のアメリカヤマゴボウが、このところ地区への増殖がみられる。多年草の植物のようで生態系も崩されてしまうので防除の対策はないか。

○事務局

環境に配慮しながら除草剤等の対処を検討します。

ウ 議事ウについて

○委員

生産量と販売量と在庫量の関係について、生産量が増加し、販売量が低調だと在庫が増えていく一方だが今後の見通しはどうか。

○事務局

搬入された畜糞には一定の水分も含まれており水分調整分があります。在庫量の算定は、搬入量から販売量を差し引いた数値と合致はしません。また、搬入業者への戻し堆肥で在庫調整を図っています。

○委員

古いホイールローダーがあるが備品なのか。不用なら処分検討をしたらどうか。

○事務局

現状は備品です。処分費用等の予算計上について検討します。

エ 議事エについて

○委員

(ア) 搬入業者が自ら処理する施設を新設する計画について、新設前から公害防止対策など市による指導をするのか。

(イ) 有機センター用途廃止により福寿有機の販売がされなくなった場合、クラインガルテン使用者、既存の堆肥利用者への今後の有機堆

肥の供給についての対応はどうするのか。

- (ウ) 資料 10 ページの運営に関する協議経過について、それぞれの協議結果について説明されたい。

○事務局

建設予定者による新規建設へ対しての環境調査は現在実施されていません。市として環境問題含めての指導をしております。

用途廃止後の有機肥料の代替については今後検討しております。

協議経過等について報告しました説明については、

8月28日：四賀地区町会連合会では、異論なく了承いただきました。

9月13日：市議会経済地域委員協議会では、了承いただきました。

12月17日：四賀有機センター原料搬入者会議では、3者に同意いただきました。

○委員

有機センターの今後の全体的タイムスケジュールについて、建設がいつ頃なのか明確になった際には本委員会に提示していただきたい。

○事務局

全体計画の基軸は、施設の建設時期がいつになるかということです。本市は補助事業の導入について支援していくこととなります。環境対策と合わせ支援・指導していきます。

- (3) 閉会（課長）